

弦楽器編サンプル - NotePad

NotePadは発想記号ツールに、個別の奏法指定の記号などは含まれていないので、テキスト・ツールで記載します。

エムアイセブン

Violin

Viola

Cello

Double Bass

NotePadは小節の途中で音部記号の変更ができないので、テキストツールなどで記載します。音符のピッチは楽譜の見た目の高さで入力しているのでプレイバックでは正しく再生されません。

Vln.

Vla.

Vc.

D.B.

tr.はテキスト・ツール、波線は変形図形ツールで記載します。

Vln.

Vla.

Vc.

D.B.

バルトークピッチカートの記号は、Engraverフォントを利用して、テキスト・ツールで記載します。

トレモロの記号はアーティキュレーション・ツールで音符に付随させますが、位置を手動で調整します。符尾の長さを変更できないので多少の工夫は必要です。

弦楽器編サンプル - PrintMusic

PrintMusicでは発想記号ツールが編集できるので、音部記号なども記号として登録して配置します。ただし、音符のピッチは楽譜の見た目の高さで入力しているのでプレイバックでは正しく再生されません。

Violin
Viola
Cello
Double Bass

PrintMusicでは奏法指定のテキストは、発想記号ツールで配置します。



PrintMusicではtr.の記号と波線は変形図形ツールで配置できます。

Vln.
Vla.
Vc.

PrintMusicでは空の五線は隠す（非表示）にすることができます。



Vln.

PrintMusicでは組段やページのマージンを編集できるので、楽器名とページのバランスもうまく調整できます

弦楽器編サンプル - Finale

Finaleでは、小節の途中からの音部記号の変更も可能です。
もちろんプレイバックも正しいピッチで再生されます。

エムアイセブン

Violin

Viola

Cello

Double Bass

← 組段の区切りを示す「組段セパレータ」も、プラグインを活用して一括で配置することができます。

Vln.

Vla.

Vc.

Vln.

Finale ver.26以降では、アーティキュレーションの配置機能が改善され、自動で正しい位置、そして符頭に重ならないように符尾も自動で延長されます。

Finaleでは組段やページのマージン編集はもちろん、楽器名の左揃えや位置調整も可能です。